

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	4
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	男
称号クラス				年齢	22
種族	アーシアン			境遇	天涯孤独
出自(効果)	現代人			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	11	11	9	9	7	9
ボーナス	3	3	3	3	3	2	3
クラス修正	0	1	1	1	2	0	1
他修正							
能力値	3	4	4	4	5	2	4

HP	42
MP	42
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	バゼラード	至近	0	4	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ドミノ					2			
胴部	クロスアーマー					3			
補助									
装身具	シーフズツール								
	能力値		4	0	4	0	2	9	8
スキル									
その他	スマホ太郎							1	
	総計(右)		4	4					
	総計(左)		4	0	4	5	2	10	8
	総計(両)								m
	ダイス数		2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5	1		6	+ 3 d
トラップ解除	4	2		6	+ 3 d
危険感知	5	1		6	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定	4			4	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
○道具	MPポーション*1
バックパック	○食糧
冒険者セット	にく*2
・野営道具	
・ロープ	
・ランタン	
・火打石	
1 スマートフォン	
○ポーション	
毒消し*1	
HPポーション*2	

現在重量: 12 | 最大重量: 14 | 所持金: 2390 | 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アーシアン: 召喚	★	-	メジャー	-	自身	自動成功	シリオ1	
効果:	ダイスロールの直前に使用、それに+2d。また作成時のみ現代アイテムの価格を1%にする							
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果:	武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]							
シャドウブレイド	2	6	マイナー	-	自身	自動成功	短剣, 隠密	
効果:	白兵攻撃のダメージ+(CL)*10							
スティール	2	3	DR直後	-	自身	自動成功	シリオ3	
効果:	白兵攻撃の直後にドロップ品を1つ得る							
アームズマスタリー: 短剣	1	-	パッシヴ	-	自身	-	短剣	
効果:	短剣の命中+1D							
シャドウストローク	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	移動やエンゲージを行っても隠密状態を維持							
スイングダガー	1	5	効果参照	-	自身	自動成功	短剣	
効果:	投射に使った武器は手元に戻り装備品になる							
インタラプト	1	-	効果参照	-	単体	自動成功	シリオ1	
効果:	対象の「パッシヴ、アイテム」以外のスキル無効							
	◇							
効果:								
ラーニング	1	-	効果参照	-	自身	-	-	
効果:	ハイドアウェイ習得							
↑ハイドアウェイ	1	4	セットアップ	-	自身	自動成功	-	
効果:	隠密状態になる							
トレジャーマニア	1	-	効果参照	-	単体	自動成功	シーン1	
効果:	対象のドロップ品ロール+1D							
カルチャー: 現代	1	-	効果参照	-	自身	自動成功		
効果:	現代に関する文化や習得に関する【知力】判定+1D							
ファインドトラップ	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	トラップ探知判定+1D。判定に失敗してもトラップが作動しない							
アンチトラップ	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	トラップ探知、トラップ解除、危機感知の達成値+1。自身が発動させたトラップが要求する判定の達成値+2							

初期: スティール、アームズマスタリー: 短剣、ラーニング (ハイドアウェイ)、トレジャーマニア

元の世界では趣味で祖父から受け継いだ山を歩き、手先が器用なのもあり趣味の裏で狩猟をしたりしてた。なので裏に関しては人一倍得意(自称) 時には祖父から教わった気配を消して茂みから動物を狩りする隠密の狩もしたりもしていたのでそういった方面の心得もある。その際は狩猟用のナイフを使っていた。

いつものように山歩きをしていると慣れ親しんだ山なのになぜか道迷う。しょうがないので野宿しようと思いをし始める所を探すと何かを祀ってある不思議な祠を見つける。こんな場所の存在は知らなかったが一晩だけ泊めてもらうため祠のヌシに手を合わせ、一晩眠りについた。そして、目が覚めたときそこは知らない森の中だった。山で眠った不思議な祠に似つつも朽ちてボロボロになったソレの傍で自分は眠っていた。

狩猟道具や野営道具も手元にあったので数日は狩りをしながら生活をする。そして、ある日のこと森とある冒険者と遭遇する。幸運にはその人は後に自分もそう言う存在であると知るアーシアンだったのでこの世界について色々聞くことができた。

そしてこの世界になぜ来たかわからないしやることも無いため、とりあえず動物を狩ったり雑用で雇われたりしながらその日その日食べて生活している。

